



にいのようへい
新野陽平 議員

明日の熱海

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 今後の網代活性化策
- 空き家対策の進捗と今後の対応

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



防災時の福祉避難所との協力体制について 教育の質向上施策について

質問 市内3か所の福祉避難所と防災時における入所支援等各種連携をどのように行う予定か。

答弁 大規模災害時は指定避難所に避難された方のうち、配慮を要する方について市が福祉避難所まで移送することとなる。

要望 現状でも余力に限られる中、災害時には通所者に加え大勢の要配慮者まで受け入れた上で命を預かる重責を担えるのか、職員や現入所者の命も守りながら果たして福祉避難所として機能できる

のかを施設関係者は憂慮している。不安感解消のため、平時も含めた更なる協力連携の構築をお願いする。

質問 教育の質を上げる要素の一つとして教員の子どもたちに接する時間の確保が挙げられ、本市教育振興基本計画でも教職員の多忙解消を謳っているが、現状何を進めているか。

答弁 授業におけるシステム化やペーパーレス化の推進により、教職員の業務の負担軽減を推進している。また、子どものタブレット端末の利用で授業準備

備や授業支援の効率化、提出物等の評価時間の効率化等にも取り組んでいる。

要望 ICT教育や英語教育も付け焼き刃的に取り組むのではなく、あくまで主眼は子どもたちの将来に置き、何を考え何を備えることが子どもたちにとってベストになるのかといった将来像から俯瞰して教育施策を考えていただきたい。

小中学校の登下校の見守りについて 買い物難民、交通弱者対策について



あか こういち
赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 糸川遊歩道修景整備
- 学生消防団活動認証制度

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 登下校の見守りについて、災害などの緊急時には、登下校時の子どもと連絡を取れる手段はあるか。

答弁 そのような手段はないが、緊急時には保護者と密に連絡を取り合いながら、警察と連携して対応していく。

質問 買い物難民、交通弱者対策として本年もまめつこ号が市内を走っているが、成果はいかに。

答弁 令和5年の実績では4か月で1709人と利用が増加しており、地域の移動手段として認知されてきている。

質問 交通弱者対策を本格的に行っていくためにもまずは交通空白地帯にどれだけの市民がいるのかGISを活用し、可視化された交通空白地帯の地図を作成するべきと思うがいかがか。

答弁 今後、交通課題解消の検討をしていくためにも、詳細な地図の作成は必要だと考えている。